

エノウイ 航空宇宙産業用製品の品質管理

国際認証取得

日本製品を 米国へ輸出

ステンレス・高合金

流通大手のエノウエ

(本社・東京都千代田区、社長・井上浩樹氏)

は航空宇宙産業用製品の品質管理に関する国際認証「AS9120B」を取得した。同社の強みであるエンジン

アリング機能を生かし、日本製金属材料や

得を義務付けるケースが多い。

同社はこれまで同産業の日本企業向けに高機能素材を供給してきた実績が豊富で、販路拡大や顧客対応などのノウハウを持

つ。一方、円安や中国リスクの高まりで米国市場での日本製品の引き合いが強まっており、同社は日本製品の米国輸出に商機を見だしているという。そこで同社はこのほど、米国・シカゴの素材メーカーカーボと顧問契約を結び、輸出入支援を受ける体制も整えた。

井上社長は「日本には高品質な金属材料を製造する鉄鋼メーカーのほか、高い技術力を持つ加工業者も多い。高度な安全性を求める

米国の航空宇宙市場のニーズにも応えられる」と説明。まずは素材輸出から始め、その後は強みであるきめ細かい対応力、協力会社との連携により加工度の高い製品に仕上げて輸出する予定としている。「仮に円高に振れ

たり、関税が上がったりしても、認証取得したことで輸入材を日本の加工サプライチェーンにつなげることができる。さまざまな構想が考えられる」と井上社長は語る。



登録証を持つ井上社長

が多い。

同社はこれまで

同産業の日本企業

向けに高機能素材

を供給してきた実

績が豊富で、販路

拡大や顧客対応な

どのノウハウを持

